

テーマ 宮崎大学アメリカン・プロジェクト**特色ある取組**

2019年10月より、アメリカ国務省（在福岡アメリカ領事館）の助成金により、宮崎大学附属図書館3Fに「アメリカン・インフォメーションデスク（以下、AID）」を設置し、アメリカ政府から資金面及びソフト面での支援を得つつ、地域国際化の促進や留学機運醸成を行うことを目的とするプロジェクトを行っています。このプロジェクトの対象は宮大生のみならず、宮崎県内外の高校生・大学生・一般の方も含まれます。

本プロジェクトは主に下記5点の活動を実施しています。①アメリカ国務省、NASA、国際連合及び高校等と連携したAIDセミナー、②AIDブース来訪者への対応（留学相談等、高校生・一般含）、③アメリカ国務省と連携した基礎教育科目「現代アメリカ入門」の実施、④イングリッシュ・ランチの実施（*現在は休止中）⑤英語・アメリカ文化関係図書の貸し出し。

2021年3月、ヤング・在日本アメリカ大使館臨時代理大使が来県した際に、学生のエスコートで本プロジェクトの視察を行うとともに、英語で学生達との意見交換会を実施しました。

期待される成果・効果

本プロジェクトでは、今まで（2021年10月時点）での上記5点の活動への延べ参加人数は4000人近くにのぼります。参加者に対して実施したアンケートでは以下3点の成果・効果がみられます：

- ①地域の国際化促進：宮大生及び地域の学生がアメリカの外交官やNASA職員等との交流を通して、日本のみならず、国際的な事項に興味関心を向ける大きなきっかけとなっています。なお、本プロジェクトは文部科学省トビタテ留学JAPAN!の研修で国際・地域のグッドプラクティス事例としても紹介されました。
- ②留学機運醸成：本プロジェクトでの交流をきっかけに世界に興味を持つことで、宮大生が在学中にアメリカのみならず、その他の国への留学へ挑戦するきっかけとなっています。
- ③英語学習への関心の高まり：本事業への参加をきっかけに、宮大が実施している英語研修などに参加するきっかけとなっています。



AIDでの留学相談



NASA職員によるセミナー



ヤング臨時代理大使の訪問

参考URL：

アメリカン・インフォメーションデスク
https://opac.lib.miyazaki-u.ac.jp/?page_id=775

宮崎大学がジョセフ・M・ヤング駐日米臨時代理大使と学生の意見交換会を開催
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/newsrelease/international-info/post-637.html>